

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 通信）

事業者名：パルシステム生活協同組合連合会

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）	
講義・演習（実習）	
1 職務の理解	6時間
(1) 多様なサービスの理解	
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間
(1) 人権と尊厳を支える介護	
(2) 自立に向けた介護	
3 介護の基本	6時間
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	
(2) 介護職の職業倫理	
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	
(4) 介護職の安全	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間

実施計画		
カリキュラム名・時間数		実施内容
1 職務の理解	6時間	1 職務の理解
(1) 同左	3	(1) 講義のみ
(2) 同左	3	(2) 講義・演習：視聴覚教材を用い、働く現場についてグループ毎に話し合って発表をします。
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援
(1) 同左	5	(1) 通信講座のみ
(2) 同左	4	(2) 通信講座／講義・演習：介護予防・残存機能の活用をテーマとした事例について、グループで話し合い、発表をします。
3 介護の基本	6時間	3 介護の基本
(1) 同左	1.5	(1) 講義のみ
(2) 同左	1	(2) 通信講座のみ
(3) 同左	1.5	(3) 講義・演習：事故予防や安全対策、感染予防等の事例に基づき、介護に関するリスクについてグループで話し合い発表をします。
(4) 同左	2	(4) 通信講座のみ
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）	
講義・演習（実習）	
(1) 介護保険制度	
(2) 障害者総合支援制度及びその他制度	
(3) 医療との連携とリハビリテーション	
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間
(1) 介護におけるコミュニケーション	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	
6 老化の理解	6時間
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	
(2) 高齢者と健康	
7 認知症の理解	6時間
(1) 認知症を取り巻く状況	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	
(4) 家族への支援	
8 障害の理解	3時間
(1) 障害の基礎的理解	

実施計画		
カリキュラム名・時間数		実施内容
(1) 同左	3	(1) 通信講座／講義・演習：介護保険制度の理解を深めるため、申請から支給決定迄のフローチャートを作成します。
(2) 同左	3	(2) 通信講座のみ
(3) 同左	3	(3) 通信講座のみ
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 同左	3	(1) 講義・演習：言語・非言語コミュニケーション技術を学ぶため、障害者や認知症に応じた対応方法を話し合います。
(2) 同左	3	(2) 通信講座のみ
6 老化の理解	6時間	6 老化の理解
(1) 同左	3	(1) 講義・演習：例題を設定し、その例題に基づいてグループでの話し合い発表をします。
(2) 同左	3	(2) 通信講座のみ
7 認知症の理解	6時間	7 認知症の理解
(1) 同左	1	(1) 通信講座のみ
(2) 同左	2	(2) 通信講座のみ
(3) 同左	1.5	(3) 講義のみ
(4) 同左	1.5	(4) 講義・演習：認知症の家族事例を聞き、グループでどのような支援ができるか、話し合い発表をします。
8 障害の理解	3時間	8 障害の理解
(1) 同左	0.5	(1) 通信講座のみ

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）	
講義・演習（実習）	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	75時間
ア 基本知識の学習	10～13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50～55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	

実施計画		
カリキュラム名・時間数		実施内容
(2) 同左	1	(2) 通信講座のみ
(3) 同左	1.5	(3) 講義・演習：障害者を持つ家族の気持ちや、家族が抱えるストレスについてグループで話し合っ発表します。
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	76時間	9 ころとからだのしくみと生活支援技術
ア 基本知識の学習	9時間	ア 基本知識の学習
(1) 同左	4	(1) 通信講座のみ
(2) 同左	2	(2) 講義・演習：老化や障害を受け入れる過程での感情や生きる意欲の形成等をテーマに、講師が事例を提示し、グループで話し合い発表します。
(3) 同左	3	(3) 通信講座のみ
イ 生活支援技術の講義・演習	54時間	イ 生活支援技術の講義・演習
(4) 同左	3	(4) 講義・演習：事例を示し、共に行う清掃、洗濯、調理等を演習します。
(5) 同左	2	(5) 通信講座のみ
(6) 同左	6	(6) 講義・演習：更衣・整容等の介助方法の基本を学び、利用者を想定し、更衣、整容の実技演習します。
(7) 同左	6	(7) 講義・演習：移動・移乗の介助方法の基本を学び、利用者を想定し、移動・移乗の実技演習します。
(8) 同左	6	(8) 講義・演習：食事介助方法の基本を学び、利用者を想定し、食事介助の実技演習します。
(9) 同左	6	(9) 講義・演習：入浴・清潔保持の介助方法の基本を学び、利用者を想定し、入浴・清潔保持の介助方法を考え実技演習します。
(10) 同左	6	(10) 講義・演習：排泄介助方法の基本を学び、利用者を想定し、排泄介助の実技演習します。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）	
講義・演習（実習）	
(11)睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12)死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	
(実習)* (50～55時間中12時間以内)	
介護実習	○時間
ホームヘルプサービス同行訪問	○時間
在宅サービス提供現場見学	○時間
ウ 生活支援技術演習	10～12時間
(13)介護過程の基礎的理解	
(14)総合生活支援技術演習	
10 振り返り	4時間
(1)振り返り	
(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
追加カリキュラム	
計	( 130 時間)

実施計画		
カリキュラム名・時間数		実施内容
(11) 同左	6	(11) 講義・演習：利用者を想定した安眠の工夫、環境整備の実技演習します。
(12) 同左	3	(12) 通信講座のみ
(実習)*	10時間	(実習)*
-	0	-
同左	4	訪問介護事業所のサービス提供に同行し見学します。
同左	6	通所介護事業所の仕事を見学します。
ウ 生活支援技術演習	12時間	ウ 生活支援技術演習
(13) 同左	6	(13) 講義・演習：事例から、基本的情報の整理、アセスメント、介護計画をグループで立案し、発表します。
(14) 同左	6	講義・演習：2事例を使って、一連の生活支援を提供する際の視点、自立に向けた介護過程の展開方法を考え、実技演習します。
10 振り返り	4時間	10 振り返り
(1) 同左	2	(1) 講義・演習：研修や実習を通して学んだことを振り返り、習得したことを確認し、各自発表します。
(2) 同左	2	(2) 講義のみ
計	( 130時間)	